

## 「仙台市すこやか子育てプラン 2015」平成 28 年度 実績・評価等（概要版）

個別の事業の実施状況及び事業ごとの評価については、別添資料 2-2 『「仙台市すこやか子育てプラン 2015」平成 28 年度実績・評価等』のとおりである。

以下は、プランの施策体系ごとの実績・評価等について、とりまとめたものである。

### 基本目標 1：子どもが明るく元気に育つ環境

※ [] 内は平成 27 年度実績

#### 施策体系（1） 子どものすこやかな成長を守るまちづくりの推進（P1～6）

子どもの権利に関する意識啓発や、地下鉄東西線沿線への保育所整備、老朽化・狭あい化していた学校校舎等の整備を行ったほか、スクールソーシャルワーカーの増員による教育相談体制の強化などにより、子どもたちの健やかな成長を守るまちづくりの推進を図った。

##### ■主な事業（新規・拡充など）

##### ①子どもの権利に関する意識啓発【整理番号:1】（子供未来局）

全ての新中学 1 年生の保護者に対し、子どもの健全育成や権利侵害の防止のためのリーフレットを配布したほか、新たに「保育所における人権擁護等に関するチェックリスト」を作成し、保育が子どもの人権に配慮した内容になるよう意識づけを行った。

##### ②学校教育施設整備【整理番号:13】（教育局）

老朽化、もしくは児童生徒の増加により狭あい化していた校舎や屋内運動場等の新增改築工事等を実施し、教育環境の改善を図った。

- ・学校校舎（岩切小）
- ・学校プール（岩切小，八木山小）
- ・学校屋内運動場（八木山小）
- ・学校校庭整備（上杉山通小，川前小，仙台高）

##### ③心のケア推進事業【整理番号:26（64）】（教育局）

スクールソーシャルワーカーを 2 名増員し、児童生徒の置かれた様々な環境に働きかけながら、関係機関と連携し、学校の教育相談体制の充実を図った。

## 施策体系（2） 子どもの多様な体験の場の充実（P7～11）

保育所での小中高生による乳幼児とのふれあい体験や、せんだい環境学習館（たまきさんサロン）の開館、子どもの読書活動の推進などにより、子どもの多様な体験・学習機会の充実を図った。

### ■主な事業（新規・拡充など）

#### ①乳幼児とふれあう機会充実【整理番号:29（105）】（子供未来局）

保育所における体験学習やボランティアの受入れにより、小学生、中学生、高校生が乳幼児とのふれあいを通して乳幼児を身近に感じ興味関心を持つ機会となり、命の大切さや家族の愛情、役割の理解につながった。

・体験学習の受入れ：4,805人 [3,310人] ・ボランティアの受入れ：680人 [308人]

#### ②環境教育・学習推進事業【整理番号:30】（環境局）

平成28年4月に環境教育・学習の拠点の施設として「せんだい環境学習館（たまきさんサロン）」を開館し、大学や環境団体等と連携し、サロン講座や小学生を対象とした環境学習の充実を図った。

#### ③子ども読書活動推進【整理番号:36（65）】（教育局）

関係課長会議や有識者などによる検討委員会を経て、これまでの取組における成果・課題を分析し課題解決に向けた取組を盛り込んだ「仙台市子ども読書活動推進計画（第三次）」を策定し、子どもの読書環境の更なる充実に努めた。

## 施策体系（3） 生きる力をはぐくむ教育の充実（P12～19）

学校給食を通じた食育の取組などによる健やかな心と体の育成、仙台子ども体験プラザの全市展開による社会的・職業的に自立する力の育成などに取り組んだほか、（仮称）仙台市幼児教育の指針の策定に向けたアンケート調査の実施など、教育の充実に向けた取組を行った。

### ■主な事業（新規・拡充など）

#### ①食育推進事業（食に関する指導）【整理番号：58】（教育局）

1日の給食で使用する農産物について、ほぼ仙台市産を使うことで地場産品の良さを伝える「まるっと仙台産農産物の日」を教育局と経済局との連携により小中学校10校で実施し、児童生徒の食への関心の向上に努めた。

#### ②仙台自分づくり教育推進事業【整理番号：72（114）】（教育局）

仙台子ども体験プラザを全市に展開したことにより、より多くの児童生徒が体験型経済教育プログラムを体験することができた。

・実施校（参加人数） 市立小学校119校（8,162人） [122校（8,507人）]  
市立中学校63校（8,294人） [32校（2,855人）]

#### ③幼児教育の指針策定に向けたアンケート調査【平成28年度新規】（子供未来局）

「（仮称）仙台市幼児教育の指針」の策定に向けて、市内全ての幼稚園、保育所及び認定こども園を対象にアンケート調査を実施し、本市の子どもの育ちをめぐる課題の把握に努めた。

※幼児教育の指針については、本調査の結果等を踏まえ平成29年度末を目途に策定予定。

## 施策体系（４） 子どもの活動拠点の整備と充実（P20～21）

---

放課後児童クラブについて、サテライト室の整備などにより、受入れ人数を拡大したほか、対象学年の段階的な拡大を開始するなど、放課後等の子どもたちの安全な居場所の確保・充実を図った。

また、夕方の時間帯に中高生向けに児童館の遊戯室を開放したほか、のびすく泉中央において中高生が主体となってイベントを運営するなど、子どもたちの居場所の充実に向けた対策を推進した。

### ■主な事業（新規・拡充など）

#### ①放課後児童健全育成事業の推進【整理番号:87（247, 407）】（子供未来局）

サテライト室の整備などにより、受入れ人数の拡大を図った。また、児童クラブ対象学年の段階的な拡大を開始し、特別な支援が必要な小学4年生の受入れを行った。

- ・児童館児童クラブ数：153箇所 [133箇所]（公設民営分）
- ・受入れ人数：8,792人 [8,297人]（公設民営分）

#### ②放課後子ども総合プラン推進事業【整理番号:88（408）】（子供未来局）

「仙台市放課後子ども総合プラン実施方針の取り組みに関する提案（高学年児童の受入れに向けた対応）」をとりまとめ、市と児童館の管理運営団体等との間で、高学年児童の受入れに向けた課題と対応策の共有を図った。また、32学区にサテライト室を整備し、うち21学区を学校施設等の活用により整備した。

#### ③放課後子ども教室推進事業【整理番号:92（353, 412）】（教育局）

新たに3教室（3校）を開設。学校・地域の連携を促進し、子どもの安全な居場所の確保を図るとともに、地域との交流の機会を提供することができた。

## 施策体系（５） 社会的自立への支援（P22～25）

---

防火防災教育、消費者教育、交通安全対策など、子どもたちが将来、社会で生活する上で必要な教育、啓発を行った。また、市立高等学校におけるインターンシップ事業における就労支援や、不登校児童生徒や日中居場所のない青少年のため、ふれあい広場や適応指導センター「児遊の杜」、適応指導教室「杜のひろば」を運営するなど、子どもたちの社会的自立に向けた支援を着実に推進した。

### ■主な事業（新規・拡充など）

#### ①ふれあい広場運営【整理番号:109】（子供未来局）

日中居場所がない青少年が日常的に通所できる場所として「ふれあい広場」を設置し、通所者の実態に合わせた支援にあたることにより、自己有用感、さらには勤労観を持たせることができた。

- ・登録人数：10名 [8名]
- ・来所者数：延べ129人 [327人]

#### ②無職少年の就労支援対策事業【整理番号:113】（子供未来局）

中学校卒業後、又は高校卒業若しくは中退後、職に就いていない少年からの就労相談に応じるとともに、相談者の状況に寄り添いながら就労に向けた支援を行った。

- ・相談人数：7人 [5人]
- ・相談回数：181回 [89回]
- ・採用件数：2件 [1件]

#### ③市立高等学校におけるインターンシップ【整理番号:115】（教育局）

インターンシップ参加生徒が大幅に増加。生徒の内面的な成長を促し、進路意識が向上した結果、平成28年度末において、就職内定率100%を達成した。

## **施策体系（6） 支援を要する子どもへの対応（P26～34）**

児童虐待防止推進員養成研修や、医療機関同士のネットワーク化などにより、児童虐待防止対策の充実を図った。また、支援を要する子どもたちへの支援・配慮として、障害福祉サービス事業の整備、放課後等デイサービス事業の受入れ枠の拡大や、難病サポートセンターの周知啓発などに取り組んだ。

### **■主な事業（新規・拡充など）**

#### **①障害児（者）施設整備促進【整理番号：135】（健康福祉局）**

宮城野区の障害福祉サービス事業所（生活介護）の整備が平成29年3月に完了し、重い障害のある方の日中の活動の場を拡充し、特別支援学校の卒業生の受入先を確保することができた。

#### **②放課後等デイサービス事業【整理番号：139（297）】（健康福祉局）**

新たに14施設が開所し、受入れ枠が135人分拡大。より多くの利用を希望する児童に対し、必要なサービスを提供することができた。

・利用者延人数：203,232人（98施設）[165,228人（84施設）]

#### **③難病サポートセンター事業【整理番号：141（298）】（健康福祉局）**

平成28年4月に作成した「難病の方へのサービスガイド」を活用して様々な機会を捉えて難病サポートセンターの周知・啓発を実施し、相談件数の増加へとつながった。

・電話相談：281件 [188件]    ・面接相談：98件 [113件]    ・訪問相談：10件 [5件]  
・メール等での相談：38件 [20件]    ・同行支援等：17件 [16件]

## **基本目標2：安心して子育てができる社会**

※ []内は平成27年度実績

## **施策体系（1） 子どもがすこやかに生まれ育つための保健・医療の充実（P35～37）**

妊娠等に関する相談事業や、妊婦健康診査、乳幼児健康診査等の実施など、母子保健の充実を図った。また、区役所家庭健康課及び総合支所保健福祉課を子育て世代包括支援センターと位置づけ、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援体制の構築を図った。

### **■主な事業（新規・拡充など）**

#### **①妊婦歯科健康診査【整理番号175】（子供未来局、各区役所）**

平成28年8月より事業を委託し、市内の登録医療機関での受診を可能としたことで、受診率の向上につながった。

#### **②妊娠等に関する相談事業（せんだい妊娠ほっとライン）【整理番号：176（123, 323, 370）】（子供未来局、各区役所）**

平成28年度から新たに不妊・不育の相談も追加し、思いがけない妊娠や子育てに関するものなどの、悩みを抱える相談者の不安軽減につなげた。

#### **③子育て世代包括支援センター事業【平成28年度新規】（子供未来局、各区役所）**

妊娠期から子育て期にわたるまでの母子保健や育児に関する様々な悩み等に円滑に対応するため、区役所家庭健康課及び総合支所保健福祉課を「子育て世代包括支援センター」と位置づけ、保健師等が専門的な見地から相談支援等を実施し、妊娠期から子育て期にわたるまでの切れ目ない支援体制の構築を図った。

## **施策体系（2） 教育・保育基盤の整備と保育サービス等の充実（P38～41）**

認可保育所の創設整備を計画的に進めるとともに、認定こども園の普及に向けた支援や事業所内保育事業の促進等により、保育の受け皿の拡充を図った。また、多様なニーズに対して幅広く対応するため、病児・病後児保育や産休明け保育など、共働き家庭を支援する保育サービスを充実させた。

### **■主な事業（新規・拡充など）**

#### **①保育所整備事業【整理番号：197】（子供未来局）**

認可保育所の創設整備や、せんだい保育室の認可保育所への移行等により、受入定員を増やすことができた。また、国家戦略認特区を活用した都市公園内への保育所整備も行った。

・定員数：15,720人（平成29年度当初）[14,753人（平成28年度当初）]

#### **②病児・病後児保育事業【整理番号：204】（子供未来局）**

事業の空白区であった若林区に保育所併設型の病児・病後児保育施設が開所し、市全体の病児保育サービスの提供体制の強化が図られた。

#### **③産休明け保育の充実【整理番号：205（248）】（子供未来局）**

新設保育園（所）12園で産休明け保育を実施するなど、事業の拡大が図られた。

・実施箇所数：75箇所[63箇所]

## **施策体系（3） 幼児期の教育・保育の質の確保のための取組（P42～45）**

児童一人ひとりの特性を踏まえた細やかな保育と保護者への適切な支援を行うために外部専門家による巡回相談を実施したほか、保育士リターンセミナーや地域限定保育士試験による保育士人材の確保、幼稚園教諭や認定こども園職員を対象とした研修会など、教育・保育の質の確保に向けた取組を推進した。

### **■主な事業（新規・拡充など）**

#### **①保育専門技術向上支援事業（スーパーバイズ事業）【整理番号：214】（子供未来局）**

発達臨床学等の外部専門家10名による保育所等での巡回相談を実施し、児童一人ひとりの特性を踏まえた細やかな保育と保護者への適切な支援を図った。

・実施箇所数：公立保育所16箇所、私立保育園24箇所[公立保育所17箇所、私立保育園23箇所]

#### **②保育士人材確保対策【整理番号：218】（子供未来局）**

潜在保育士を対象として復職に役立つ、講話や施設の情報を提供する「保育士リターンセミナー」を開催したことにより、17名の保育士を確保した。

#### **③地域限定保育士試験の実施【平成28年度新規】（子供未来局）**

国家戦略特区を活用し、保育士不足解消に向けて地域限定保育士試験<sup>\*</sup>を実施した。

・受験申請者数：437名　・合格者数：104名

※地域限定保育士試験：合格者は登録後3年間、試験を実施した自治体内のみで保育士として働くことができ、4年目以降は全国で保育士として働くことができる。

## **施策体系（４） 仕事と子育ての両立に向けた取組（P46～47）**

ワーク・ライフ・バランスの実現に向けた啓発事業の実施や、放課後児童クラブの対象学年の段階的な拡大の開始、産休明け保育の充実など、仕事と子育ての両立に向けた取組を推進した。

### **■主な事業（新規・拡充など）**

#### **①企業等に対する仕事と家庭の両立支援促進【整理番号：242】（子供未来局）**

仕事と子育ての両立が可能なワーク・ライフ・バランスの実現を図るため、企業等に対する啓発・普及のためのセミナーを引き続き開催したほか、リーフレットの作成、配布を行った。

- ・セミナー参加者：123名 [30名]
- ・リーフレット配付：12,000部 [5,200部]

#### **②放課後児童健全育成事業の推進【整理番号：247（87，407）】（子供未来局）**

※再掲（整理番号：87）

#### **③産休明け保育の充実【整理番号：248（205）】（子供未来局）**

※再掲（整理番号：205）

## **施策体系（５） 家庭の子育て力向上のための取組（P47～53）**

子育てふれあいプラザ等における子育てに関する相談対応のほか、幼稚園、保育所等における地域子育て支援事業の充実、区役所等における利用者支援事業の充実など、各種支援により子育て家庭の子育て力向上を図った。

### **■主な事業（新規・拡充など）**

#### **①子育てふれあいプラザ（のびすく）運営事業【整理番号：249（340，387，404）】（子供未来局）**

子育て支援ネットワークの拠点施設である子育てふれあいプラザ等において、ひろば事業、託児事業、情報収集・提供事業、地域支援事業等、様々な面から子育て支援を行うことにより、保護者の育児に対する不安の軽減を図った。また、若林区へののびすく整備については、若林区中央市民センター別棟等複合施設内への設置に向けて工事を進めた。

※平成29年10月1日に、子育てふれあいプラザ若林（のびすく若林）が開館。

#### **②保育所等地域子育て支援事業【整理番号：264（345，390，405）】（子供未来局）**

地域子育て支援センターが3か所増え、全体の利用者数が増加。また、乳幼児の保護者が自由に交流できる「赤ちゃん広場」や「親子のつどい」、「体験保育」への参加者が平成27年度に比べて大幅に増加した。

- ・「赤ちゃん広場」等への参加者数 107,948人 [99,085人]

#### **③区役所等における利用者支援事業【整理番号：266（347）】（子供未来局）**

保育サービス相談員による出張相談の実施を強化し、より多くの情報提供・相談の機会を提供することで、保護者の支援に努めた。

- ・相談件数：8,523件 [7,438件]
- ・訪問件数：147件 [109件]

## **施策体系（6） 子育て家庭に対する支援の充実（P54～59）**

各種手当や医療費助成により経済的負担の軽減を図ったほか、ひとり親家庭に対する就労支援、低所得世帯の子どもに対する学習支援など、子育て家庭に対する支援の充実を図った。

### **■主な事業（新規・拡充など）**

#### **①子ども医療費助成【整理番号:283】（子供未来局）**

平成 29 年 10 月から通院の対象を中学校 3 年生までに拡充することを決定し、具体の運用に向け、システム改修等に着手した（平成 29 年 10 月から運用開始）。

#### **②低所得世帯の子どものための学習サポート事業【整理番号:294】（健康福祉局, 子供未来局）**

市内 20 か所に教室を開設し、生活保護世帯及び児童扶養手当全額受給世帯の中学生を対象として学習支援を実施。参加者の基礎学力の向上が図られたほか、放課後の居場所としての役割を果たすこともできた。

・参加者数 331 人 [286 人]

#### **③ひとり親家庭高等職業訓練促進給付金等事業【整理番号:308】（子供未来局）**

対象資格を 18 種から 21 種に拡大するとともに、支給期間を 2 年から 3 年に延長し、ひとり親家庭の経済的負担の軽減を図った。

## **基本目標 3：子どもと子育て家庭を応援する地域**

### **施策体系（1） 地域の子育て支援力の充実（P60～70）**

子育てふれあいプラザ、地域子育て支援センター、幼稚園等における相談支援や講演会、交流の場の提供、学校・家庭・地域が一体となった支援体制の整備など、多様な担い手による子育て支援の地域ネットワークの構築などに取り組んだ。

### **■主な事業（新規・拡充など）**

#### **①子育てふれあいプラザ（のびすく）運営事業【整理番号:340（249, 340, 387, 404）】（子供未来局）**

※再掲（整理番号：249）

#### **②幼稚園地域子育て支援事業【整理番号：346（265, 391）】（子供未来局）**

新たに 2 園で基本事業を、1 園で広場事業を開始し、子育て中の保護者が安心して子育てができる地域環境と家庭環境の整備、地域子育て支援機能の充実が図られた。

#### **③学校支援地域本部事業【整理番号:351】（教育局）**

平成 28 年度は 85 本部に増設し、学校に対する支援活動を拡充した。また、未設置校に対しては、本部設置校を核とした中学校区内の学校間での連携体制を図りながら、平成 29 年度に向けて「支部」の枠組みづくりを進めた。

## **施策体系（２） 地域における子育て支援施設等の充実（P70）**

---

子育てふれあいプラザ（のびすく）の若林区の整備に向けた準備や、地域における児童と子育て中の親の活動拠点となる児童館の整備事業など、子どもと子育て家庭の視点に立った施設等の充実を図った。

### **■主な事業（新規・拡充など）**

①子育てふれあいプラザ（のびすく）運営事業【整理番号：404（249, 340, 387）】（子供未来局）

※再掲（整理番号：249）

②放課後児童健全育成事業の推進【整理番号：407（87, 247）】（子供未来局）

※再掲（整理番号：87）

③放課後子ども総合プラン推進事業【整理番号：408（88）】（子供未来局）

※再掲（整理番号：88）